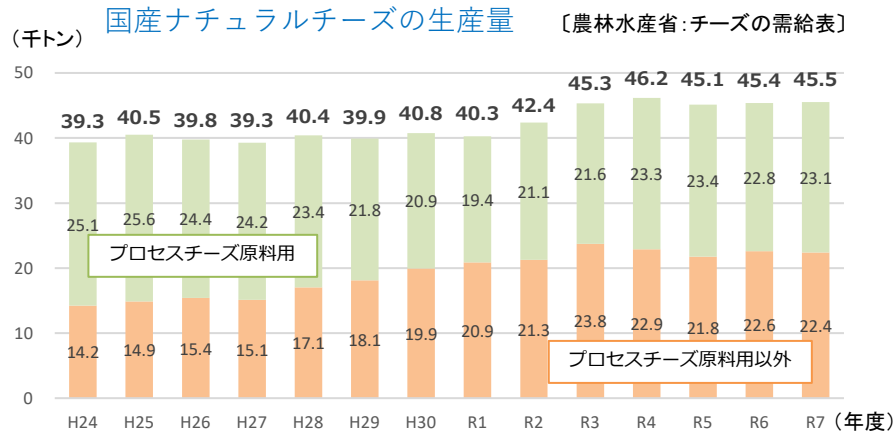


国産チーズの状況

- 国産ナチュラルチーズの生産量は全体として増加傾向（令和7年度45.5千トン）
- 国内のチーズ工房等の数は長期的に増加（約150か所（平成22年）⇒ 346か所（令和7年））
- 国産チーズの品質や評価も着実に向上（国際コンクールでの上位入賞等）



ポルトガル、スイスで開催されたチーズ国際コンテストで上位入賞

令和6年11月にポルトガルで開催された「ワールドチーズアワーズ」で日本から出品された54品のうち、21品が受賞。令和7年11月にスイスで開催された際は51品のうち、22品が受賞。

【スーパーゴールド受賞チーズ】



「瀬棚」
CHEESEDOM
(R6受賞)



「雪子」
敷信村農吉チーズ
工房乳いずの物語。
(R7受賞)



「養沢ヤギチーズ」
養沢ヤギ牧場
(R7受賞)

米国で開催されたチーズ国際コンテストで上位入賞

令和8年3月に米国で開催された「ワールドチャンピオンシップチーズコンテスト」で日本から出品された40品のうち5品が受賞。【金賞】4品【銀賞】1品

【金賞受賞チーズ】



「森のチーズ 長熟」
チーズ工房那須の森



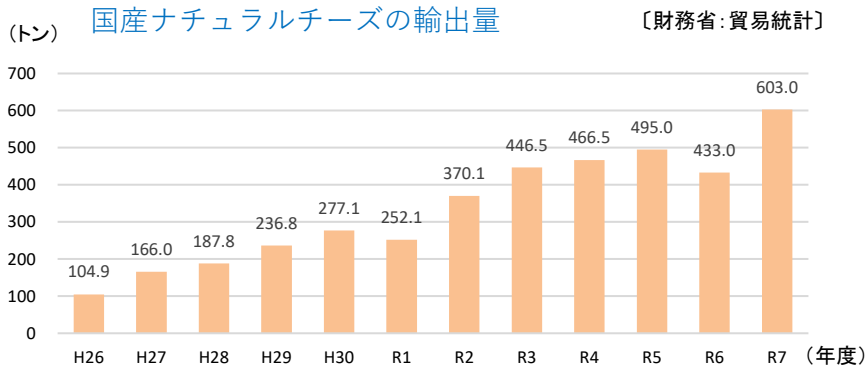
「りんどう」
那須高原今牧場チーズ工房



「カマンベール・キヨミ」
KAMIKAWA KITCHEN



「ババロア・アラ・フレーズ」
三良坂フロマージュ



農林水産省の支援策

国産ナチュラルチーズの競争力強化を図るため、令和7年度補正予算において、国産牛乳乳製品需要拡大・競争力強化対策予算を措置し、チーズ工房等の生産性向上（施設整備）と技術研修、国際コンテストへの参加等の品質向上・ブランド化に向けた取組、国産チーズの需要拡大に向けた取組を支援。